



ドラマ「健康で文化的な最低限度の生活」

火曜日夜九時、フジテレビでドラマ「健康で文化的な最低限度の生活」が放送されている。役所の生活保護担当者が主人公。

七月二四日の放送では・・・生活保護を受けている家庭の高校生がアルバイト。すると「家庭の収入が増えたから、生活保護で支給された額からその分を返させる」となり、生活保護担当者は悩む。

生活保護は世帯収入が生活保護基準に満たない時、足りない分を支給する。だから、バイト収入があれば、その分支給額が減る・・・と云う訳だ。結局、バイトしても使える生活費は増えない。「バイトは生活保護受給額を減らすだけ」これでは働く意欲が湧かない。

ベーシックインカム

ベーシックインカムとは政府が収入の多少に関わらず全ての国民に最低限の生活を保障する金額を支給する制度。フィンランド等でテストされている。これなら「生活保護家庭の収入」を調べる必要もない。バイトすれば収入が増える。

財源は、累進課税の所得税。高額所得者の事業は社会が支えているのだから当然。

アベノミクスで景気が上向く触れ込みだが消費は増えていない。ベーシックインカムがあれば、低所得者の消費も増え景気が上向く。破産してもベーシックインカムが保障。将来不安も無く全ての人の生活が安定。若者も新しい事に挑戦できる。あなたはこう思われますか？



道の駅安曇野松川から

長野県北安曇郡松川村細野
二〇一八年五月

五月末、塩の道を歩きにでかけた。

八王子から中央高速、長野道を経て、安曇野インターで降りる。梓川に沿った県道には「安曇野アートライン」の表示がある。この道に沿って十九もの美術館がある。

途中、松川村に入ると「道の駅安曇野松川」がある。「寄って停まつかわ」とだけじゃのような名前になっている。

周辺には田植えしたばかりの早苗田。苗の黄緑色、それが水面に映る。この日はちよつと風があり、水面にさざ波。山の映り込みは見えなかった。

西を大糸線の電車が通っている。その先、台形に見えるのは標高二二六八mの有明山。

その後、燕岳(つばきだけ)大天井岳がある筈だが、ここからは見えない。

